



8.10. 小学生まんが教室にて



徳山大学広報

学園台の風

第43号

平成19年9月1日 発行

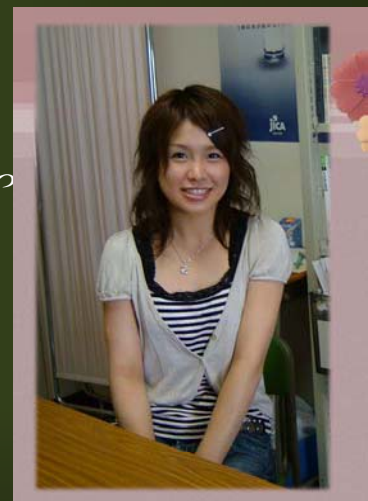
＜学生生活のいま＞

福祉情報学部社会福祉コース2年

長浜 未来 さん

高校時代から福祉を学んでいますが、さらに深めたいと思い、徳山大学で今勉強しています。介護福祉士の資格を持っているので、それを生かして、高齢者の自宅にお手伝いに行きながら、学生生活を送っています。いろいろな発見のある毎日です。

発行 徳山大学総務部
編集責任者 歳田英孝
山口県周南市学園台
TEL 0834-28-0411 (代)





ありがとうございます。
マンガ・アニメ世代のお父さんお母さんも増えて
いますのでその分やりや
すくなりました。
講義もされたのです
が、参加者の方の好きな
マンガ作品や、持参した
自分の描いた作品などを

マンガ・アニメを学ぶのオープンキャンパス

チャレンジキャンパスを通じて

今年度初めての取り組みとして、知財開発（マンガアニメ）コースのみを対象としたオープンキャンパスが5月から毎月1回の、合計3回開催されました。主な内容は、マンガの成り立ちについての講義、プロの技術についての実習、さらにそれらを踏まえて自分で作品を描いていくことなどでした。そこには、通常のオープンキャンパスでは得ることのできない、先生と参加者、あるいは参加者どうしのコミュニケーションが広がったようです。3回を通して講師を務めた、なかはらかせ先生にお話を伺いました。

先ほど、保護者の方にもお話を伺いましたが、軒並み評判が良かったようです。

通して、随分とお話をされたのも好評でしたが。

マンガ・アニメの好きな方たちというのは、日頃はものすごく静かだったり、自分から口を開くのが苦手だったりする人が多いのですが、こういう同じ趣味を持つ人の中に入ると大変盛り上がる事ができます。共通の趣味を持ち、同じ世界観で話をする事により、その人が生き生きとしてくるのですが、僕が一方的に話をするだけではなく、作品評などすることにより、日頃ない良いコミュニケーションが広がったのだと思います。



参加者の方の感想として「楽しかった」という言葉がよく聞かれました。そうですね、僕が常に思っているのは、もちろん描く上の基本的なルールとかノウハウというものは厳しくあるのですが、描くときの楽しさを味わってもらいたいと思っています。その楽しさというのは、厳しいけれど言われてみればそんなのだと、一歩自分の絵が前より良くなったということ、これは楽しさですよ。自分一人でやっていて「上手くできない」「上手くできない」と思っていた時に、ほんのちょっとしたアドバイスにより、今まで気がつかなかったことが見えてくるということ、楽しさにつながると思つのです。だからちょっと厳

そうですね、僕が常に思っているのは、もちろん描く上の基本的なルールとかノウハウというものは厳しくあるのですが、描くときの楽しさを味わってもらいたいと思っています。その楽しさというのは、厳しいけれど言われてみればそんなのだと、一歩自分の絵が前より良くなったということ、これは楽しさですよ。自分一人でやっていて「上手くできない」「上手くできない」と思っていた時に、ほんのちょっとしたアドバイスにより、今まで気がつかなかったことが見えてくるということ、楽しさにつながると思つのです。だからちょっと厳

しいけれど、そういうイベントを目指してやりました。今回、チャレンジキャンパスという事で、初の試みですが、いかがでしたか。
チャレンジキャンパスとしたのは、僕ら（大学側）も新しい試みとして、通常のオープンキャンパスと違うタイプのものを作りたいと思いましたが、マンガ・アニメの好きな子供たちに、大学の取り組みを通してこういう学び方もあることを知ってもらい、参加した人たちの世界が広がることを期待していましたが、結果的にすごく良かったと思います。

近年、日本のマンガ・アニメは日本の産業のひとつとして海外に多数輸出されていますが、この現状についてどうお考えですか。

まず多分これからも日本のマンガ・アニメの世界は盛り上がっていくと思います。しかし、今現在評価が平均的に高くて、これからどうなるかということからは、これから担うこともたちに期待していくかありません。そういった意味でも、将来ワールドワイドで、作家としてあるいは、作品をプロデュースする立場で仕事をしたいという事で今本学で学んでいる学生を育てていくということには、すごく大切なことと信じています。

今後の展開についてはどのようにお考えですか。

以前、僕は「かせらんと」というのをやっていたのですが、そこでは年齢とか関係なく、マンガ好きな人が集まってわいわいと日中お菓子など食べながら話をする会合でした。そういう集まりの中から、いろいろなイベントとか、結集していることが自分に向いているのではな



なかはらかぜ 特任教授

大阪芸術大学芸術学部在学中の1977年小学館ビッグコミック賞佳作入選。「藍島絵日記」(小学館)「風の中の案山子」(集英社)の他、さだまさし氏のCDジャケット、行政関係の刊行物やイベントプロデュースなど幅広く活躍。

いかで見つけて、その後「サイナー」になったりとか、いろいろな方面にその中から旅立っていきました。そういうことをこの徳山大学にもせっかく良いアトリエもありますので、将来的にはやってみたいですね。
ありがとうございます。
・・・参加者の声より・・・
日頃は、暇さえあれば植物や動物など何でも描いています。今日は先生の指導がものすごく詳しくわかりやすかったです。(高3・女子)
キャラクターの作り方など、とても勉強になりました。できれば、将来徳山大学に来て、マンガをしっかりと学びたいと思います。(高2・男子)
先生方や、ついてくださった先輩方が親切で雰囲気がとても良く、アドバイスも的確で楽しかったです。
徳山大学は志望校の一つに入っています。私はマンガ家になりたいと思いますが、ここでは経済学部の中でマンガを学ぶことができるので、就職の際にも枠組みが広そうだと感じて、それもこの大学の魅力のひとつです。(高2・女子)。(取材協力 しゅうなんFM)

EQ教育を柱とする 若者チャレンジ支援プログラム

これは、文部科学省の平成19年度「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に採択された委託事業です。大学・短期大学等の高等教育機関を卒業しながら就職せず、または就職してもその後離職し定職についていない若者の、**学び直しによる再出発**の支援を目的とします。本学が今年度から正課教育にとり入れた「EQ教育」を柱として人間力を育成し、資格取得支援科目やインターンシップと組み合わせ、社会人としての再出発を支援するものです。

EQ教育とは (Emotional Quotient: 心の知能指数)

社会のなかで自立した人間として生きていくための総合的な力は「人間力」と呼ばれます。本学は、この人間力の重要な要素として、その育成を柱とする新しい教育プログラムを導入しました。このEQ教育プログラムは、「セルフコントロールとコミュニケーション」をテーマとするEQトレーニング、「チームビルディングとリーダーシップ」をテーマとするEQトレーニングII、そして「ソーシャリティ」をテーマとするEQトレーニングIIIの3つのトレーニング形式の実習を中心に構成されます。これらのトレーニング実習に加えて、様々な人間力育成のための講義科目、行動マネジメント、問題発見と解決、プレゼンテーション、意思決定科学、などを組み込んで構成したものが徳山大学EQ教育システムです。

プログラムの特徴

本学が今年度新たに導入した「EQ教育プログラム」を柱とし●グループと共同して働くことの喜びを知る「自立支援塾」●「本学正課講義」と「資格取得講座」●「インターンシップ」と組み合わせ人間力を高め、就職への道を探っていきます

第1ステップ…合宿形式で実施する「EQ教育プログラム」と「自立支援塾」をとおして、自己を認知し制御するノウハウを学ぶとともに、グループに協力して目的を達成する能力を養います。**セルフコントロール&ミニゲーム、チームビルディング&リーダーシップ**、これらの能力の養成がこのステップの目標です。



第2ステップ…本学の正課講義に参加し、人間力11基礎力・日本語表現力を高めるとともに、資格の取得(今年度はMOS)を目指します(必須科目群)。また、希望によってファイナンスやビジネス戦略など、本学の各種コース専門科目群を受講することもできます(選択科目群)。

第3ステップ…EQ教育の最終段階である**ソーシャリティプログラム**を受講しながら、インターンシップに挑戦し、就職を目指します。

本年度は今年9月より、来年3月迄プログラムが進められます。



TOPICS

徳山大学で インターンシップをされた 教頭先生

7月30日より8月3日までの1週間、山口県立徳山養護学校の辻村政志教頭先生が徳山大学で職場体験実習をされました。辻村先生は「高校と違った教育現場での職場体験を試みたかった」ということから徳山大学を希望されたとのことでした。先生には、炎天下の中、緑化作業の一環として、テニスコートの整備にもご協力いただき、何事に対してもいとわれない、献身的な先生の姿に、頭の下がる思いでした。省みれば、私たちの方が教えられる事の多い1週間でありました。



コートにローラーを
かけられる辻村先生



7月31日日本学客員教授の弘兼憲史先生の特別講義が知財館アトリエにて行われました。知財開発コースの学生を中心に約40名の学生は、弘兼先生の講義を食い入るように聞いていました。講義の後半では、学生の作品評があり、なかには先生が各学生の作品のアウトラインを紹介のあと、作成した学生に直接、弘兼先生からコメントやアドバイスをされるという、知財開発コースならではの講義が展開されました。



楽しみながら模擬講義を受ける



学食にて昼食

本年度第2回オープンキャンパスが8月25日開催され、多くの参加者で賑わいました。本学のオープンキャンパスは、在学生による進行、また、キャンパス内の案内などを特色としており、生徒さんたちも親近感をもって参加されていました。次回3回目は9月22日に開催されます。

弘兼憲史客員教授特別講義

第2回オープンキャンパス開催

マンガがビジネスになる？ スポーツは「する」？それとも「創る」？
福祉と情報と一緒に学べる？

徳大の特得
オープンキャンパス情報

徳山大学2007オープンキャンパス

8月4日(土) 8月25日(土) 9月22日(土)

◎学部・学科説明◎キャンパスツアー◎模擬講義◎入試Q&Aコーナーetc.

◎参加者のみなさまに記念品をプレゼント！
◎お楽しみ抽選会開催！
◎学食試食会もあります。(+ケーキバイキング)

BUS 無料送迎バス運行！

※会場 徳山大学 ●開催時間 11:00-15:30(受付10:30-)

徳大の特別でお得な3日間！

◎スペシャルイベント

13:00~

高校生マンガコンテスト
表彰式(知財館にて)
今年はどんな作品が！？
どなたでもご入場できます。

きてよねー

何かがはじまる！

友達と行こうよー